

町民と議会の意見交換会（平成 26 年 11 月 7 日泊分館）

【開会時間 午後 7 時】

司会 （あいさつ） 議会の意見交換も 3 回目になりました。この会を通じて皆様の意見を行政に反映できればという思い。議会機能の向上にも努めていきたい。

議長 （あいさつ） この会は、議会が実際にどのような活動をしながらか動いてきたか、それぞれの委員会の方で決定したことの報告と、一番主眼に置いているのは報告の後にある意見交換。湯梨浜が誕生して 10 年経った。当時あった、協議会で行われたハード、ソフトの部分は一応区切りがついた。これから湯梨浜がどういうものを作り上げていったらいいのか、皆さんから貴重な意見を聞きたい。議会としてはやっているつもりだが、なかなか見えにくい部分がたくさんある。これは議会も執行部もだが皆さんの思いは、果してどのように町政の中に施策的に盛り込まれ、27 年度の予算に向けた中で、議会は議会として施策が執行部とすり合わせをしながら行えるか。皆さんの意見を聞いて帰りたいと思う。

司会 議員の自己紹介をします。

（各議員自己紹介）

司会 河田議会運営副委員長から今日の日程の説明をします。

河田副委員長 （資料を基に説明）

司会 議会報告に入ります。総務産業常任委員会報告。

入江委員長 水明荘の運営状況について。（資料を基に説明）2 か月に 1 回くらいを目途に水明荘よりデータをもらい検討している。31 年度まで償還を計画している。今まで積み上げてきた財源も平成 23 年度からなくなり、一般会計から持ち出しするようになっている。9 月定例会においても代表監査からも踏み込んだ指摘もあり、議会でもたくさん討論をしている。町長も自分が先頭に立って水明荘のあり方を考えていきたいと答弁なされた。31 年の償還が終わった時点で大規模改修が必要の中、このまま町営として続けていく水明荘のあり方がいいのか、民間委託か、指定管理か、このようなことを含めた中で総合的に考えなくてはいけない。町長は東郷エリアのランドマークとして残していきたいと示しておられる。国民宿舎第 1 号です。それも含め水明荘のことは考えていきたいと思う。

国道 179 号線安全対策検討状況（資料を基に説明）朝、夕に慢性的な渋滞が発生している。はわい温泉エリアまで混雑度を調べている。設計したこの道路はこれぐらいの台数と設計するものよりもはるかに車の量が多い

状況。延伸のなかで9号線のバイパス、羽合インターチェンジはフルインターにと決まっている。その辺の兼ね合いの中で交通状況の緩和に向けて動いていくのではと考えている。いろんな検討がなされているが福産の所で止まっている179号線、これを延伸し9号線までタッチするという考え方。バイパスを設けながら緩和する考え方、いろんな考え方を県土整備局も検討しているみたい。所管の委員会としても県土整備局、国交省から情報を共有しながら方向等検討していきたい。

筒地地区の地すべり対策検討状況（資料を基に説明）町道の段差も以前より厳しくなっているし、クラックの幅も広がってきている。県がボーリング調査をし、何箇所か縦に井戸を掘って横から水を抜いて水位を若干下げて上から砂を被せ抑え込んでいく形を県は検討している。最終的なボーリング調査がもう少し、終わっていない状況。それが終わり次第データがきちんととれたなかで、県の方で設計がなされ具体的なものが示される。これは大きな問題なので、早く町道筒地原線においても通れるように議会も願っているので県土整備局、町の方とも連携しながら早く工事がなるようにと思っている。広範囲の工事なのでこれをするとすれば多額の費用がかかると思う。その辺も見守りながら検討、これについては泊エリアの方に、いろんな意味で情報の共有化、フィードバックしていきたいと思う。

司会

浦木委員長

教育民生常任委員会報告。

新公民館体制について、泊地区はすでに行っているが羽合、東郷はこの4月から開始した。議会が賛同したのは泊、羽合、東郷の公民館の不公平感があったから。料金も徴収するところと徴収しないところ、本来の公民館のあり方についての問題があるのでは、と執行部より提案があった。十分に議論した結果、その辺を正していくのは仕方ないのでは。新体制になった時点での不都合なところ、気が付いた点があれば、その時点で改善していくという中において議会、委員会も賛同した。新体制になってから住民の皆さんがどのような不都合を感じているか聞けたらと思う。

次の新中学校建設について。場所は長江地区に決定。用地交渉も地元の地権者の協力によってスムーズにいと報告を受けた。（資料を基に説明）遅くても31年度1～2月に完成。9月10日にPTAの代表の方と意見交換会をした。①駐車場が150台位では少ないのでは。②歩道の整備をきちんとしてほしい。という意見が出た。PTAの意見を理解しながら行政に話をしていくよう進めてきた。

次に保育所、幼稚園の整備について。（資料を基に説明）松崎幼稚園は、未満児受入れが出来なかったが、地元の要望もあり、受け入れる予定の為の工事。11月の下旬から工事に入り3月上旬には完成予定。新年度にはきち

んと受入れが出来るように。田後保育所は遊戯室が狭く生活発表会等がままならなかった為の増築工事。工事は9月下旬から入っていて12月の下旬完成予定。その後に生活発表会を予定。

次にオンデマンドバス。合併したときにコミュニティバスとして走っていたが、利用者が少なく廃止になった。コミュニティバスは廃止になったが現在、交通難民の方もおられ、必要性はある。そういう方の利便性を考え、教育民生常任委員会はオンデマンドバスに積極的に取り組んでいるということで三重県玉城町に視察に行った。オンデマンドバスは、タクシーと路線バスのいいところを取ったもの。利用者が予約したら自宅近くまで来てくれる。こういったことも必要ではないのかということで我々は進めてきた。いろんな問題点もあるので論議しながら進めていきたい。

司会

広報常任委員会報告。

浜中委員長

議会広報の編集、発行、本会議ではTCCを利用した録画放送、各常任委員会の審議内容を町のHPを利用して動画をインターネットで配信している。議会だよりの基本姿勢として誰もが読みやすく、わかりやすい紙面に取り組んでいる。役所言葉は住民目線に翻訳しながらやっている。今、力を入れているのは町民インタビュー。皆さんの声をいただきながらの掲載をしている。(資料を基に説明) 皆さんにお願いします。これからも町民インタビューを続けていきます。議員から皆さんにお願いに行くことがあるが、そのときは快く引き受けてくださることをお願いします。

司会

行財政調査特別委員会報告。

河田委員長

行財政調査特別委員会は平成21年10月23日に設置され、2年間を区切りにH25年～26年の2年間で現在の委員会となる。

財政の健全化について。(資料を基に説明) 次に補助金などの整理合理化について。(資料を基に説明) 湯梨浜町議会でも毎年9月定例議会中に「決算審査特別委員会」を設置し各事業内容等を重点的に審査します。H25年度決算に関しましても概ね適正な執行がされたものと認めたところです。

次に定員管理の適正化について。(資料を基に説明) 正職員の人数を減らすだけが、定員管理の適正化につながるとは思えない。冒頭にも述べたが、効率化やスリム化を求めるあまり住民サービスが不十分になってないか、行政施策遂行に歪が出ていないか、今後も細かく検証する必要がある。

新公会計制度に関する調査及び研究についての現況報告。平成27年度3月まで固定資産台帳を整備し、これをもとに公共施設管理総合計画、インフラ長寿命化基本計画の基礎データの作成が進められている。このことにより、遊休施設などの評価検討がなされ、今後の施設の維持管理、または処分等の検討材料になると考える。

議員各自の調査研究については、新公会計制度に関して当員会を中心に全議員に呼びかけをし、監査委員を対象とした公会計制度の研修会に参加したり、資料に基づき研究を進めている。今後も、研修会や勉強会などに積極的に参加し、議員各自のレベルアップを図る必要がある。

司会

議会改革基本問題調査特別委員会報告。



増井委員長

（資料を基に説明）この委員会は2年間で結論を出すようになっている。今回、当委員会として2つ意見を聞かせてほしいので提案します。①議員報酬について。議員報酬 20,8000 円を元に戻したい意向がある。②タブレット端末の活用について。将来的にはペーパーを使用しないペーパーレスの時代がくるのでは、ということで調査研究している。最初にタブレット端末について。ペーパーレスを目指すということで調査したが、県内ではあまり進んでいない。日南町議会が導入したということで、視察に行ってきた。（資料を基に説明）はっきり言って、まだまだ課題が多いタブレット端末導入だと思った。決算などになるとタブレットだけでは不足なくて、ペーパーも用意しないとならない現状もある。これに関しては、もう少し研究調査をしていきたい。皆さんから意見があれば是非、聞かせてもらいたい。

次に議員報酬について。（資料を基に説明）議員定数を削減して今 12 名に

なった。これ以上、削減すると会議も成り立たないところまできている。これ以上つくことはできない。中部地区特別職報酬等審議会答申内容が出て、町長月額に対する議員は 27%程度の額とすると書いてあり、これで行くと 217,000 円というのが答申の内容。うちの議会では 5%カットのまま、現在まで来ているので 208,000 円で来ている。今、当町の議員は平均年齢が 63.8 歳です。この先、若い人に議会に出てきてほしいという思いが強い。少なくとも標準の 218,000 円に戻してもいいのでは、戻させてもらいたいという思いで提案させていただきます。

司会 委員長報告で若干、質問時間を設けます。ご発言を求められます方は、挙手願います。マイクをお届けしますので、住所・氏名を言ってから、ご発言願います。

住民 ペーパーレス時代に伴うタブレット端末の活用について。回答は求めません。ものすごい勢いでスピード化が求められる昨今です。忘れてはならないのは、文章によるチェック、ペーパーによるチェックは疎かにしてはいけません。あまり、機器に頼りすぎると、やはりそういうような事態が起こる可能性がある。役場の、ある課ではいまだに千円単位にコンマがつかない文章が流れている。湯梨浜町にも立派な文書管理規定があるが、疎かにしているので、町民の声で指摘させてもらった。ペーパーを大事にということの一環として 10 月 1 日に施行された空き家の適正管理に関する条例が、まだホームページに載っていない。空き家の適正管理に関する条例を、一支所の掲示板のカギを開けてもらい読ませてもらった経過がある。パソコンにもない、ホームページも載っていない。こういう貴重なペーパーのチェックをこれからも疎かにしてはいけなし、ホームページでは見れないものがペーパーとしてできている。今回、泊地区に流れた意見交換会の文書は、光井議長が書かれたのか、議会事務局が書かれたのか。12 人の議員さんがチェックをしないのかなと感じたのは、冒頭のあいさつに寺地議員からあったように、今回の意見交換会は実は 3 回目なのに文章は昨年からはまったという書き方がしてある。そういうことで気を付けてくださいという意味です。タブレット端末も大切だがペーパーのチェックも執行部、議員さんが達も注意していただきたい。

司会 もう少し質問をいただきたいと思うが、この後、湯梨浜町誕生 10 周年を迎えて意見交換をする予定にしている。副題で新中学校建設に向けて、東郷池周辺整備、議員報酬、水明荘の運営について意見交換会をする予定にしている。それ以外の項目で聞いてみたいことがあれば。

住民 議会改革の 7 ページに町長の基本給料月額が書いてあるが計算式がおかしい。

事務局長 平成18年の資料をそのまま抜粋したものを、提供させてもらったので誤りについては、後日改めさせてもらいたい。827,000 円から 3%を減額し、ということで理解いただきたい。

司会 その他ありませんか。

住民 オンデマンドバスについての質問。オンデマンドバスが難しく、中身を知ったのが羽合地域の説明会だった。湯梨浜町社会福祉協議会で、ふれあいバスという事業をされている。簡単に説明すると、H20.10 から社協の乗り合いバス事業が始まった。対象者は一人暮らし、二人暮らしの高齢者、軽度の障害があり家族送迎が困難な方。利用料は、年間費千円払えば何回使用しても無料。できた当初の対象地区が、路線バス停から自治会入口まで概ね1キロ以上離れている自治会。羽合地域は新川、浜、泊地域は泊、小浜、東郷地域は、けっこうたくさん中山間地でありスタートしている。その後、利用できる地域が広がり、23年度からは町内の全地域で利用できるようになっている。実績は利用登録者制。昨年度は利用者47名、羽合14名、泊22名、東郷11名。泊・羽合地域は第1・3金曜日に運行、1回の平均人数が10人。東郷地域は、第2・4金曜日に運行、1回の平均人数が4.8人。現在、このようなバスがあるのに、議会としてオンデマンドバスを作られようということなのか。

浦木委員長 議会としてやると言う方向性は、まだ見出していない。これから議論して、論議しながらやっていきたいということ。東郷地域でも、社協が乗り合いバスの事業をしているのに、同じようなことをするのかと質問があった。私がお答えしたのは、乗り合いバスの良さ、オンデマンドバスの良さ、この辺をいろいろ考えながら、町が事業主体になるのか、社協かわからないが、その辺のことを考えながら一番利用者の利便性のいい方法を取るべきではないのか、と方向でいい案が出たら行政の方に話をしていきたいという気持ちでいる。

司会 議長の方で補足お願いします。

議長 若干補足をさせていただきます。2会場でも言ったが、玉城町というのはオンデマンド、予約制のバスを運行させながら利便性を図っている。これは、東大の研究室が国の事業を受け、その関係でこういう交通体系をやるというシステム開発にあたった。そこで手を挙げたのが玉城町だった。玉城町は非常にコンパクトな町で、旧羽合町のような町を想像してもらいたい。人口密度が高いところ。そういうところを、開発したシステムをどのように運行できるかということを東大がやった。オンデマンドバスを、湯梨浜でやるとなると莫大な経費がかかってくる。システム自体は非常に優れている。これを湯梨浜にとなれば、言われるように今、社協もしている

- ので、逆に言えば社協の利用状況をどう向上させるか、不便さがあるのかを検証をかけてみるのもひとつの方法なのでは。委員会で検討しているが、それを行政がやるのか、との話しにはならない。
- 住民 泊地域を例にとると、商店の数が年々減少している。自動車を持たない高齢者の方は苦勞している。コミュニティバス、合併によって泊から東郷、羽合へと人の動き、物の動きが行政のスリム化でなってしまった。社協のバスにしても同じで、泊地域の商店が衰退する。今年度も泊地域内で 3 店舗廃業された。町としてもこのようなバスを走らせると、半永久的にバスを走らせないといけないようになる。それよりも泊地域、東郷でも商売が続けていけるような方策、開業したい人に支援などの方が将来地域に対し、人口減少を食い止める面でもいいと思う。
- 議長 言われることは、よくわかります。地方創生で町も総合計画を見直しながら練り直しが始まると思っている。湯梨浜は連合体、泊はどうやったら活力が戻る仕組みを根本的に変えざるを得ないと思っている。地方創生が計画上に上がってきているが、まだ全く骨格状が我々も見えていないし、行政も情報は持っていないと思う。骨格が見え 1 ～ 2 年の間に計画を作り出す作業がなされる。そういうことを考えないと地域が沈没するということなので、言われることが網羅されるのでは。全くの私見なのですが、そういうことを加味しながら考えてもらえたら。大変ありがたい提言だと受け止めます。
- 司会 他にありませんか。次は本日のメインテーマですが湯梨浜町合併 10 周年を迎えてというテーマで意見交換をこれからしていきたい。進行は、会見副議長。
- 副議長 10 周年が終わり、今後 10 年、20 年に向けて意見をもらいたい。
- 住民 水明荘の中長期見通しについて。ゆりはま議会だより 44 号、6 ページに決算審査特別委員会の町のお金の使い方の中で、代表監査委員の記事がでている。毎月監査を行っているが、スタッフが一丸となっていないと感じないという記事が載っている。これが水明荘の収支の問題を表しているのでは。この先、逆転満塁ホームランは難しいと思うので、収支の悪さが続くなら第 1 号の国民宿舎が頭から離れないと思うが収支の金額が大きいので、そこにこだわらず先々のことを真剣に考え、最悪の場合は転売の方向を検討するようなことを考えられたら。
- 入江委員長 職員のおもてなし。建物、景観いろんな複合的な要素はある。やはり、料理が良かったり、職員のイメージが良かった等、リピーターの大きな要因である。当委員会も常々このことは言っている。このことを勉強する為に千葉県、サンライズ九十九里浜に視察に行ってきた。全国でも 1、2 番の集

客率が高いところ。思ったのは、「おもてなし」。玄関を入ったところから。全職員にその辺が反映されている。水明荘で改善されていないのは、公的な部分もあり、町の職員 4、5 名が残っている。この辺の兼ね合い、人件費の問題でも圧迫しているところもある。行政側もその辺は認識している。抜本的な人的な配置転換も含め改革を一緒になってやっていかないといけない。国民宿舎第 1 号については国民宿舎の役割は終わったんじゃないかと。今までの経済成長期のことで今まで良かった時代もあるし、次は町のランドマークの一つとして今後の展開をどうするのが大事。早い時期に方向性が出るように改善されるように取り組んでいきたい。

住民

追加、事業は「人なり」という。これが一番だと思う。水明荘は町職員は抜きにし、皆が同じ階級の方が活力が湧く。やる気があっても比較してしまう。何とか水明荘を立て直す気があれば、皆で取り組んでほしい。

入江委員長
副議長

十分に認識しているので、今の意見を含めながら改善に向けていきたい。他にありませんか。

住民

①議員報酬について。報酬については基に戻したらいいと思う。規定に基づいて皆さんきっちり働いているので遠慮されず戻されたい。②議員定数について、12 名ということで減られ、本当に 12 名で埋まるのか。議員の数を減らせばいいのか、ということを一遍考えてほしい。合併当初は 36 名、それが 12 名になって地域住民の意見を聞く議員の方が 3 分の 1 になってしまった。本当に 12 名でいろんな人の声が聴けるのか検討してほしい。例えば 15 名で適正であれば増やしてもいいのでは。人数が少ないと獲得総数の関係で若い人が選挙に出たい時に、諦めてやめてしまうのでは。若い人が出ないのはそういうところに弊害がある。減らすばかりではなく、我々の意見、行政に対する提案、チェック機能も持っておられるので、それを含め議員定数を再検討してほしい。③タブレットについては、まだ早いと思う。タブレットを採用されれば OS の基本ソフトが変われば、どんどん変えていかないといけない。そうなると何年かに 1 回、更新をしていく必要がある。ペーパーレスになって費用削減にはならない。タブレットにすると情報が拡散するので、1 回インターネットに載ってしまうと世界中にあつという間に広がる。取り返しがつかない間違いが拡散する可能性がある。よからぬ人がウイルスを埋め込む可能性もある。どうしてもタブレットを導入となれば、紙とタブレットの併用システムを考え、間違いがないように。

増井委員長

貴重な意見をいただいた。議員報酬については若い世代の生活を支える報酬になるのか、皆のなかで問題になった。なぜ、若い人が出てきぬくいかは湯梨浜町議会だけではない。問題の一つは報酬もある。議員定数も言わ

住民

れるとおり。今、12名でどうかと言われると、若い人も出にくいという
ものもある。合併して大きくなり、獲得票もわかりにくいし、多く取らない
といけないというのもネックになっている。委員会で検討したい。タブレ
ット、もっと研究し、みんなで話し合っていく余地がある。

議員と執行部のやり取りがわからない。

①上野議員に質問。泊、洋上風力発電の進捗状況。何度か議会だよりに掲載
り、執行部の説明では「今、進展がないので説明する機会がない」と。避
けて通るような返答の仕方。泊沖に10機のプロペラが、夢見るような計
画でランドマークなるようなことを思わせながら4年経過した。その理由
について、議員さんも常任委員会、定例報告会でもいい、進展が見られな
いのかというようなところまで詰めたところを議会だよりに掲載してほしい。
風況調査が止まったままになっている、これも詰める点。上野議員も言わ
れていたが、低周波音の健康被害が問題になっていて、そこが解決できな
いから進展ができないのか。こういうことで4年も経過した。洋上風力発
電、来年で5年になる、一向に進んでない。議員も執行部もどうしている
のかと新聞に書かれるのでは、と懸念している。上野議員も質問されてい
たので、報告会、常任委員会でもっと詰める体制で。

②泊漁港での井戸海水事業について。昨年、公募される段階でこんなこと
が書いてあった。地元の業者決定段階で、地元には説明して同意を得たい
と広告の中身の条件になっていたが、全く説明がなかった。区長に聞いた
ら、環境、水質にも影響ないという返事があったと。当たり前、影響があ
れば事業はストップしてしまう。今後、事業化になると、マサバが食べれ
る等の新聞に書いてあるようなことをなぜ、説明の場を設けなかったのか。
町の補助金、県の補助金もあれば追及してもらいたい。

③空き家適正管理に関する条例。10月1日施行では中部で湯梨浜が一番
遅い。町長が言われるには実施している町村の検証をしながら取り組んで
いきたいと。実際にもう始動している。米田議員に答えてほしい、空き家
の適正管理に関する条例で、一つだけ他の町村に比べないものがある。行
政処分するときに審議会が設置されていない。三朝、北栄、琴浦、倉吉市
もそうだが、空き家に対して改善命令に従わなかったら、勧告・指導等た
くさんある。ところがこれは行政指導。ほったらかしにして近隣に迷惑を
かけるという状態が続けば、その人に命令を下すことができる。宮脇町長
は設置をあえてしなかった。他の町村に聞いてみると町長の権限だけで人
の財産処分に関するものは審議会に諮って、町長として決断して相手に対
し通知する。なぜ10月1日施行の段階で可決にはなったが、今からでも遅
くないので次回に一部条例改正で出してほしいくらい。審議会が本当に必

要なかったのかどうか、と詰められた議員さんはおられたか。

陸上養殖の件は、どの議員さんでもいいので答えてください。

司会

議員、個々が答えるのはこの場としては、まずいので。各委員会もあるので委員長のほうで何かあれば。

入江委員長

わかる範囲でお答えします。①洋上風力発電について、最近はチェックしていない。言われたように動きがないので報告することがない、ということを行行政の方から聞いている。それ以上は委員会としても踏みこんで今のチェックをかけていない。改めて聞いたので早急に行政側に問い合わせ、行政側も分からなかったら事業主体に問い合わせてもらい、やるのかやめるのか決断を含め問うていきたい。また報告はさせてもらう。

②陸上養殖、2社が公募に応じ今、事業を進めている。湯梨浜振興、テイトエンタープライズの2社。湯梨浜振興は井戸も掘り建屋も建て実際今、養殖をされている。問題なのは、県が考えていた水の量、質が初めのデータと大幅に違う。苦慮されていて、いろんな手立てを使って研究されている。



量・質が安定していないので新たなボーリングをしていながら進めていられると思う。ただ、議会もだが、泊の振興の一つの起爆剤という認識は十分に考えていて、そのエリアの飼育、養殖、販売、食事、観光いろんな多面的な要素がある。提言しながら、県にも町と一緒に物申しながら成功

に結びつけたい。

③空き家問題、大変大きな問題。審議会のあり方は大事なことで改めて感じた。今後、検討をし、必要だということをきちんと認識できれば再上程して追加すればいい。他町村の調査研究も必要だし、その辺をしながら空き家条例が有効に進められるよう、施策に我々も取り組んでいきたい。

副議長

その他ありませんか。

住民

北溟中のPTA会長をしています。新中学校の建設問題に関して、保護者として心配な事案は、通学路が暗い、不審者等の事案など。新中学校ができるからではなく早急にやってもらいたいのが、街灯の設置をたくさんしてほしい。今現在、LEDの街灯がたくさん付いている。太陽光発電を利用しバッテリーに蓄電して、LEDで街灯をしてもらうという格好がいいのではと思う。子ども達が帰宅するのに安心安全な通学路の確保をしてほしい。親としての第1の気持ち。最終的には中学校が統合して新中学校になるときにも、すぐに活用できるの。県、警察等とも協議し早急に進めてもらいたい。

広い歩道がある。これを自転車通行可にしてほしい。時間がかかるので、最初にやってほしい要望です。

浦木委員長

子ども達の通学に関して大事な事。通学に関しては夜道の暗いというのと、交通事故、こういった意味においての通学路は安心して安全な道でなくてはいけない。街灯の件については、暗い箇所を保護者から提案してもらいたい。街灯と防犯灯、街灯は町の予算で、防犯灯は各地区が負担して維持してもらう。防犯灯等になれば区長、地元の理解を得ながらになる。防犯灯になれば、保護者の方も区長会、総会でも提案されるのも大事。できるところは取り組みます。自転車の歩行者へのマナーについてもきちんと確認しながらやっていくことが大事。時間、費用もかかる大きな大事業だと思う。

住民

自転車の歩行者に対するマナーの件、今年の7月に中学校としても事故が多発しているということで、泊地域、羽合地域の2会場で警察の方に事例などの説明を聞いた。PTAとしても、これは毎年やっていかないと新入生に教えるだけではなく、在校生も改めて認識してもらう為に。

議長

一言、補足。新中学校の問題についてもPTAと協議されたと思う。中身については、大まかなことは教育委員会の方に申し出はやっている。通学路、街灯については新中学校建設までに考えるようにと教育委員会の方に議長として申し出は行っている。

副議長

他にありませんか。

住民

歩道の自転車通学と歩道共用は危ない。歩行者としては気を使う。避けた

入江委員長 ほうがいい。住み分けしたほうがいい感じがする。検討してほしい。
舗装の整備は用地の部分できちんと両側に取ればいいが、道の作り方等
いろんな要素が含まれている。その辺はルール作りが大事。山根さんが言
われたことも配慮しながら検討していきたい。

副議長 他にありませんか。

住民 2点ほど議会に要望。①地方創生の件、10周年も終わり来年から本当に大
変な時になる。交付税も減額されていく状況で町の運営も大変だと思う。
地方でも5、10年、見据えて計画をされると思う。議会の方でも各常任
委員会、全協等でそれぞれの地域のことを町に提言してほしい。

議長 ②山陰道、北条道路の件。アンケートがきた。アンケートには全線高速で
きちんと整備すべき、ネットワークをきちんと組まないと道路としては意
味がないと記入した。町も高速化で出していると思うが、議会も中部の議
会と一丸となって県、国に要望活動してほしい。

副議長 バイパスで、事故が多いので交通対策で整備がなされる。高速にするのに
旧羽合から北条の所はいったん計画から落ちている。計画をもう一度振る
ために広島の分化会にあがろうとしている。そのことについて、9月に広
島に行っている。きちんと発言させてもらったのは「一番最初に羽合と北
条道路を立ち上げたのに、最終的には高速化が1番遅いのはどういう事か。
地元も人は憤慨している。」関連しているところの町村は一緒に行っている。
町村はこの事務所を通し広島、東京まで行っている。(町民：そのアンケ
ートは配布された方は全員出さないといけないのか。)そうです。その数が
無いと。

副議長 時間が押してまいりましたが・・・

住民 ①子育て支援のことで。10年間、26年で次世代育成対策推進法が切れ、
27年4月から子ども子育て会議がスタートする。この前、最後の次世代
育成対策協議会があった。「すこやか子育てプラン」はご存じですか。次世
代育成支援後期行動計画です。計画を立てられ、先回の協議会の時にたっ
た1時間の協議会で、「5年間の総括をしてください」と言われたが、1時
間で反省は出ない。子育て支援課で、ものすごい事業をしているのにとて
も無理な話。

副議長 ②何のための委員会、協議会なのか疑問に思った。27年からプランが出
るが国がもたついて遅くなったということで案は出たが、ざっくりした案
しか出てない。次世代育成の計画をそのままもっていくと課長が言うてお
られ、項目を少しすり替えただけで事業の中身はそのまま継続。子どもの
問題は1年で大きく変わる。このプランを策定するにあたり、ニーズ把握
はしたが実態把握はしていないと言われ、委員よりニーズと実態は違うと

指摘がでた。4月から行動かしていくなら、もう少し、煮詰めてほしいし、本当の実態把握をしてほしい。時間がないなら実態把握の方法はいろいろある。保育所、幼稚園、学校に行っても実態把握はしているので聞いたらわかる。このまま持ち越していくのはおかしい。要保護児童も年々増えている。子どもの未来は日本の未来と思う。具体的にやっていることをわかりやすい策定をしてほしい。地域力が活かすような支援の仕方を考えてほしい。

浦木委員長 子ども子育て支援法、行政の方から説明を受けた。すごく内容が難しく、理解しにくいものだった。保護者の人がペーパー、本を読んで理解は無理の状況がある。実際には4月から施行されてしまう。もう少し理解が出来るようなあり方、場所が必要と考えている。その辺のところは行政に物申していく。子ども子育て会議で審議を受け子育て支援課も施行していくという一つの流れだと思う。

副議長 時間がまいりました。

司会 意見・提言等に対しては後日、委員会、全員協議会等で検討し議会だより等で報告をしていく予定としています。貴重な意見をいただきありがとうございました。

副議長 慎重審議ありがとうございました。これからも皆さんの意見をよろしくお願いします。

【閉会時間 午後9時18分】